



立志の丘

第31号
R7.11.14
西目中学校
文責：三嶋

立志の誓いも力強く 60回目の少年式



7日(金)、西目総合支所長 ***様をはじめ、多数のご来賓と西目小学校6年生を招待して「第60回少年式」を開催いたしました。

少年式は、昔の元服にあたる14歳の時に、将来の夢や目標について深く考え、自分を見つめ直すことを目指して、昭和41年に第7代の***前校長先生が始められました。この式は、「こういう人間になって社会のために尽くしたい」という高い志を立てる立志の式であり、本校にとって、入学式、卒業式と並んで重要な儀式的行事と位置づけられる歴史と伝統のある行事です。

式ではご来賓を代表して西目総合支所長 ***様より、やなせたかし氏の生き方を引き合いに「夢を力に、着実に、その歩みを進めていくことを大いに期待しております。」というご祝辞をいただきました。

また、2年生を代表して後期生徒会会长の今藤尊哉さんが「立志のことば」を述べ、2年生一人一人が、自分の思いを込めた漢字一文字を書いた色紙を掲げながら「私はこんな人になりたい」という誓いの言葉を力強く宣言しました。2年生は、後期から学校の中心となって頑張っていますが、この少年式を機に、「どうやって社会のために尽くすのか」をさらに深めてくれると確信しました。

式典後に行った記念講演は、OKAMI企画代表で、俳優、演劇プロデューサーの真坂雅氏をお迎えして演劇とトークショーを催しました。その際、司会進行、準備・片付け等、PTA研修部の皆様が運営して下さいました。ありがとうございました。

立志のことば(一部紹介)

生徒代表 ***



本日はお忙しい中、私たちの少年式にたくさんの方々からご出席いただき、誠にありがとうございます。

今日、この日を迎えることができた喜びで、身が引き締まる思いです。また、皆様への感謝の気持ちと、大人になる第一歩を踏み出す緊張感で胸がいっぱいです。

私たちはこの少年式で、将来なりたい自分や、目指したいこと、励みたいことなどを宣誓します。それは、これから私たちの決意を述べたものです。そして、この決意を今後の学校生活で胸に刻み、さらなる成長を目指していきたいと思います。

立志三訓である「希望」「友情」「鍛練」をより意識し、立志の学校である西目中学校にふさわしい中学校生活を送りたいと思います。

さて、皆さんは、大谷翔平選手のことを知っていると思います。大谷選手は、日本のプロ野球でもメジャーリーグでも数々の実績を残しており、世界中のファンを沸かせています。その中でも、特に私が印象的だったのは、ナ・リーグ優勝決定シリーズでMVPを受賞した際、トロフィーに「チームの努力の結果」と書かれたカードを添えて、クラブハウスに飾ったというエピソードです。 (次頁に続く)

自分たちのこれまでの学校生活を振り返ると、様々なことに挑戦し、取り組んできました。その中でも、今年の合唱コンクールでは、初めて優秀賞をいただきクラスのみんなでとても喜んだことを、今でも鮮明に覚えています。

しかし、その優秀賞は一人だけが頑張ったのではなく、クラス全員が先生のアドバイスをしっかりと耳に入れ、一つの目標に向かって努力したことで得られたものだと思います。この経験から、立志三訓「希望」「友情」「鍛錬」という言葉の意味を学ぶことができました。

これからの学校生活で待ち受ける様々な困難にも、仲間たちと共に切磋琢磨し合い、それぞれの夢に向かって歩み続けたいと思います。

「チームの努力の結果」という言葉は、私にとって大切な言葉になりました。

私たちをこれまで支えてくださった地域の方々、保護者の皆様、そして先生方、本当にありがとうございました。これからも温かい応援をお願いいたします。

これから私たちは、一人一人違う道を歩んでいくことになると思います。その中でも「友情」を深めながら、ともに「鍛錬」していきます。自分たちで誓った志を高く掲げ、未来に向かって粘り強く歩み続けることをここに誓い、立志の言葉といたします。

記念講演

「月、ミチル」 真坂 雅氏

記念講演は、劇団「OKAMI企画」の代表で俳優・演劇プロデューサーを務める真坂雅氏に「月、ミチル」という演題で、演劇とトークショーをしていただきました。



【2年B組 ** **】

どんな物語だろうとワクワクしながら見ていました。お芝居を好きで始めたミチルちゃんが、だんだん周りの期待を裏切らないようにしてやっていた場面を見て、辛かったんだなと思いました。

私も好きでやっていることが楽しくないと思ってたら嫌だなと思いました。辛くなったら少し距離を置くなどして気持ちを整理させようと思いました。

【2年A組 ** **】

演劇を見てみて、いろいろな事を考えさせられました。友達との関係の変化や好きな事を続ける事の苦しさなど身に覚えのあるような話がたくさんあり、見ていて楽しくたくさんの事を学ばせられました。私はこの演劇から、一人では何も出来ない、周りの人がいるからこそ好きな事も夢を追う事もできるんだなど、周りの大切さを改めて実感させられました。

トークショーには真坂雅氏のほか、演劇でミチル役を務めた眞庭美和氏、演出を担当した寺戸隆之氏も登壇しました。



【A組】



【B組】



西中生の活躍

★令和7年度秋田県中学校秋季バレーボール大会
11月8日

【女子 ベスト8】

<1回戦>
西目中 2 $\begin{pmatrix} 25-6 \\ 25-13 \end{pmatrix}$ 0 大館東

<準々決勝>
西目中 0 $\begin{pmatrix} 19-25 \\ 20-25 \end{pmatrix}$ 2 能代南